

保健体育

44 千葉県立市川西高等学校

「 体 育 」	単 位 数	3 単 位
男子	学科・学年・学級	普通科 第1学年 1～4組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 体づくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり、体力を高めたりするとともに、自己の体力や生活スタイルに応じた体づくり運動を構成・活用することが出来る能力を身につけます。 2 各種の運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことが出来るようにするとともに、公正・協力・責任等の態度を育て、生涯を通じて運動ができる能力を身につけます。 3 測定競技・球技・武道等の特性についての理解と課題解決を目指した計画的な運動の実践を通して、スポーツの高度な技能を習得できるようにするとともに、技能を發揮して競技・ゲーム・試合 ができる能力を身につけます。
使用教科書・副教材等	大修館書店「現代保健体育」

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)		
第 1 学 期	「体育」学習について 体づくり運動 器械運動 バレーボール 柔道	4	「体育」学習の意義や内容、評価の方法を理解します。	週3単位のうち、「器械運動」、「バレーボール」、「柔道」をそれぞれ1単位ずつ履修します		
			「器械運動」		「バレーボール」	「柔道」
		5	体をほぐしたり、体力を高める運動については各学習内容に応じて構成し、自己の生活の中でも活用できる能力を身につけます。			
		6	自己の能力に応じて技能を高め、協力して練習や競技ができるようにします。また、自他の健康・安全に留意できるようにします。		自己やチームの課題に応じて、運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開し、自己の役割を自覚して互いに協力しながらゲームができるようにします。	伝統的な行動の仕方に留意し、互いに相手を尊重し、勝敗に対して公正な態度をとりながら練習や試合ができるようにします。
		7				
	【課題・提出物等】 各授業ごとに個人（グループ）学習カードに必要事項を記入して提出します。					
	【第1学期の評価方法】 1 体づくり運動10% 器械運動30% バレーボール30% 柔道30%の割合で評価します。 2 各運動種目とも、スキルテスト及び個人カードやグループカードを利用して評価を行います。 3 体づくり運動では、「関心・意欲・態度30%」「思考・判断30%」「運動の技能10%」「知識・理解30%」、その他の種目では、「関心・意欲・態度20%」「思考・判断20%」「運動の技能40%」「知識・理解20%」で評価します。					

第 2 学 期	体づくり運動 陸上競技・ソフトボール サッカー 柔道	9	「陸上競技」 「ソフトボール」	「サッカー」	「柔道」	週3単位のうち、 「陸上競技」 ・「ソフトボール」 「サッカー」、 「柔道」をそれぞれ 1単位ずつ履修 します。
		10	体づくりの意義を理解し、体づくり運動に対する関心や意欲を高め、安全に、楽しみながら、互いに協力して、より効果的に実践し、その効果を得ることができるようになります。			
		11	自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫できるようにし、競技会の企画・運営もできるようにします。	チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫できるようにし、競技会の企画・運営もできるようにします。	自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応し、攻防を展開できるように禁じ、また、禁じないなど安全に練習できるようにします。	
		12				

【課題・提出物等】 各授業ごとに個人（グループ）学習カードに必要事項を記入して提出します。

【第2学期の評価方法】

- 1 体づくり運動10% 陸上競技・ソフトボール30% サッカー30% 柔道30%の割合で評価します。
- 2 各運動種目とも、スキルテスト及び個人カードやグループカードを利用して評価を行います。
- 3 体づくり運動では、「関心・意欲・態度30%」「思考・判断30%」「運動の技能10%」「知識・理解30%」、その他の種目では、「関心・意欲・態度20%」「思考・判断20%」「運動の技能40%」「知識・理解20%」で評価します。

第 3 学 期	体づくり運動 陸上競技 (長距離走)	1	体をほぐしたり、体力を高める運動については、準備運動、整理運動、積極的休息などとの関連として取り入れたりし、自己の体力や生活に応じて実践的に工夫することができるようにする。	週3単位のうち、 「陸上競技（長距離走）」を 3単位すべて 履修します。
		2		
		3	自己の健康・安全等に留意しながら、自己の能力に応じて、記録を高めたり、定められた条件の下で長距離走をし、向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができるようになります。	

【課題・提出物等】

各授業ごとに個人（グループ）学習カードに必要事項を記入して提出します。

【第3学期の評価方法】

- 1 体づくり運動10% 陸上競技90%の割合で評価します。
- 2 タイム走及び個人カードやグループカードを利用して評価を行います。
- 3 体づくり運動では、「関心・意欲・態度30%」「思考・判断30%」「運動の技能10%」「知識・理解30%」、持久走では、「関心・意欲・態度20%」「思考・判断20%」「運動の技能40%」「知識・理解20%」で評価します。

【年間の学習状況の評価方法】

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」、「知識・理解」の4つの観点に基づいて評価された各学期と、各領域（各運動や理論）の成績を総合して、学年の学習成績とします。

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうために能動的に活動することが求められています。これまでの経験からくる苦手意識や運動嫌いに固執することなく、新鮮な気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・体ほぐしを行い、体力の向上を図り、自己や仲間の体の状態や変化に気付き、体の調子を整えたり、仲間と交流したりして、社会的な態度を育てるようにしましょう。 ・自己や仲間の能力に応じた運動の課題を設定し、その課題を解決しようとする意欲が大切です。 ・各種の運動の合理的な実践を通して、健康・安全に留意しながら、公正・協力・責任等の社会的な態度を習慣化し、日常生活の場面でも実践できるように心がけましょう。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服装は、学校指定の体操服・運動靴を着用し、衛生面に気をつけ定期的に洗濯をするようにしましょう。また、安全面に留意し、その他のものは身に付けないようにしましょう。 ・授業は、チャイムと同時に始まりますので、着替えや活動場所への移動は休み時間の内に完了させましょう。 ・見学する者は、授業の始まる前に担当者に申し出て指示を受けるようにしましょう。 ・貴重品の管理をしっかりと行いましょう。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価は、次の観点や内容を基本として各領域（種目）ごとに細かく作成します。

評価の観点及び内容		評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとしているか。 ・公正・協力・責任等の社会的態度が身に付いているか。 ・自他の健康・安全に留意して運動しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加の意欲の観察 ・個人カードやグループカードの記載内容からの読みとり ・定期テスト ・小テスト
<p>思考・判断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。 ・課題解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加の意欲の観察 ・個人カードやグループカードの記載内容からの読みとり ・定期テスト ・小テスト
<p>運動の技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業場面での参加の仕方や態度の観察 ・個人カードやグループカードの記述の読みとり ・スキルテストや記録会の結果の分析
<p>知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業場面での参加の仕方や態度の観察 ・個人カードやグループカードの記述の読みとり ・定期テスト ・小テスト

3 担当者からのメッセージ

とにかく、自他の健康・安全に留意しながら、楽しく運動をすることが大切です。新しい学習環境の中で不安もあるかと思いますが、お互いに協力し合って運動することを心がけましょう。

また、生涯を通じて運動に親しむことができるように、体力を高め、技能を高めるのはもちろんのこと、記録会や競技会の企画や運営の仕方など基本的な事項も身に付けることができるようにしましょう。

さらには、仲間との関わり方にも配慮できるような資質を身に付けるよう努力しましょう。

「 体 育 」 女子	単 位 数	3 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第1学年 1～4組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 体づくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり、体力を高めたりするとともに、自己の体力や生活スタイルに応じた体づくり運動を構成・活用することが出来る能力を身につけます。 2 各種の運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことが出来るようにするとともに、公正・協力・責任等の態度を育て、生涯を通じて運動ができる能力を身につけます。 3 測定競技・球技等の特性についての理解と課題解決を目指した計画的な運動の実践を通して、スポーツの高度な技能を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技・ゲーム・発表ができる能力を身につけます。
使用教科書・副教材等	「現代保健体育」 大修館書店

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)			
第 1 学 期	「体育」学習について 体づくり運動 陸上競技 ソフトボール テニス	4	「体育」学習の意義や内容、評価の方法を理解します。	週3単位のうち、「陸上競技」「ソフトボール」「テニス」をそれぞれ1単位ずつ履修します。			
		5	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">「陸上競技」</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">「ソフトボール」</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">「テニス」</td> </tr> </table> 体をほぐしたり、体力を高める運動については各学習内容に応じて構成し、自己の生活の中でも活用できる能力を身につけます。		「陸上競技」	「ソフトボール」	「テニス」
		「陸上競技」	「ソフトボール」		「テニス」		
		6	自己やチームの課題に応じて、運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開し、自己の役割を自覚して互いに協力しながらゲームができます。				
		7	自己やチームの課題に応じて、運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開し、自己の役割を自覚して互いに協力しながらゲームができます。				
		7	自己やチームの課題に応じて、運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開し、自己の役割を自覚して互いに協力しながらゲームができます。				
		7	自己やチームの課題に応じて、運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開し、自己の役割を自覚して互いに協力しながらゲームができます。				
7	自己やチームの課題に応じて、運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開し、自己の役割を自覚して互いに協力しながらゲームができます。						
【課題・提出物等】 各授業ごとに個人(グループ)学習カードに必要事項を記入して提出します。							
【第1学期の評価方法】 1 体づくり運動10% 陸上競技30% ソフトボール30% テニス30% の割合で評価します。 2 各運動種目とも、スキルテスト及び個人カードやグループカードを利用して評価を行います。 3 体づくり運動では、「関心・意欲・態度30%」「思考・判断30%」「運動の技能10%」「知識・理解30%」、その他の種目では、「関心・意欲・態度20%」「思考・判断20%」「運動の技能40%」「知識・理解20%」で評価します。							

第 2 学 期	体づくり運動 テニス バスケットボール・バレーボール 器械運動	9	「テニス」	「バスケットボール」 「バレーボール」	「器械運動」	週3単位のうち、 「テニス」、 「バスケットボール」 ・「バレーボール」、 「器械運動」を それぞれ1単位ず つ履修します。
		10	体づくりの意義を理解し、体づくり運動に対する関心や意欲を高め、安全に、楽しみながら、互いに協力して、より効果的に実践し、その効果を得ることができるようにします。			
		11	自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方	チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方やゲームの仕方	互いに協力したり補助したりして練習ができるようにします。また、自己の能力に応じた技を習得するための練習の仕方	
		12	工夫をすることができますようにします。	工夫をすることができますようにします。	工夫をすることができますようにします。	
期	【課題・提出物等】 各授業ごとに個人（グループ）学習カードに必要事項を記入して提出します。					
【第2学期の評価方法】 1 体づくり運動10% テニス30% バスケットボール・バレーボール30% 器械運動30%の割合で評価します。 2 各運動種目とも、スキルテスト及び個人カードやグループカードを利用して評価を行います。 3 体づくり運動では、「関心・意欲・態度30%」「思考・判断30%」「運動の技能10%」「知識・理解30%」、その他の種目では、「関心・意欲・態度20%」「思考・判断20%」「運動の技能40%」「知識・理解20%」で評価します。						
第 3 学 期	体づくり運動 陸上競技 (長距離走)	1	体をほぐしたり、体力を高める運動については、準備運動、整理運動、積極的休息などとの関連として取り入れたりし、自己の体力や生活に応じて実践的に工夫することができるようにする。			週3単位のうち、 「陸上競技（長距離走）」を 3単位すべて履修します。
		2	自己の健康・安全等に留意しながら、自己の能力に応じて、記録を高めたり、定められた条件の下で長距離走をし、向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができるようにします。			
		3				
期	【課題・提出物等】 各授業ごとに個人（グループ）学習カードに必要事項を記入して提出します。					
【第3学期の評価方法】 1 体づくり運動10% 陸上競技90%の割合で評価します。 2 タイム走及び個人カードやグループカードを利用して評価を行います。 3 体づくり運動では、「関心・意欲・態度30%」「思考・判断30%」「運動の技能10%」「知識・理解30%」、持久走では、「関心・意欲・態度20%」「思考・判断20%」「運動の技能40%」「知識・理解20%」で評価します。						
【年間の学習状況の評価方法】 「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」、「知識・理解」の4つの観点に基づいて評価された各学期と、各領域（各運動や理論）の成績を総合して、学年の学習成績とします。						

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうために能動的に活動することが求められています。これまでの経験からくる苦手意識や運動嫌いに固執することなく、新鮮な気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・体ほぐしを行い、体力の向上を図り、自己や仲間の体の状態や変化に気付き、体の調子を整えたり、仲間と交流したりして、社会的な態度を育てるようにしましょう。 ・自己や仲間の能力に応じた運動の課題を設定し、その課題を解決しようとする意欲が大切です。 ・各種の運動の合理的な実践を通して、健康・安全に留意しながら、公正・協力・責任等の社会的な態度を習慣化し、日常生活の場面でも実践できるように心がけましょう。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服装は、学校指定の体操服・運動靴を着用し、衛生面に気をつけ定期的に洗濯をするようにしましょう。また、安全面に留意し、その他のものは身に付けないようにしましょう。 ・授業は、チャイムと同時に始めますので、着替えや活動場所への移動は休み時間の内に完了させましょう。 ・見学する者は、授業の始まる前に担当者に申し出て指示を受けるようにしましょう。 ・貴重品の管理をしっかりと行いましょう。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価は、次の観点や内容を基本として各領域（種目）ごとに細かく作成します。

評価の観点及び内容		評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとしているか。 ・公正・協力・責任等の社会的態度が身に付いているか。 ・自他の健康・安全に留意して運動しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加の意欲の観察 ・個人カードやグループカードの記載内容からの読みとり ・定期テスト ・小テスト
<p>思考・判断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。 ・課題解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加の意欲の観察 ・個人カードやグループカードの記載内容からの読みとり ・定期テスト ・小テスト
<p>運動の技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業場面での参加の仕方や態度の観察 ・個人カードやグループカードの記述の読みとり ・スキルテストや記録会の結果の分析
<p>知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業場面での参加の仕方や態度の観察 ・個人カードやグループカードの記述の読みとり ・定期テスト ・小テスト

3 担当者からのメッセージ

とにかく、自他の健康・安全に留意しながら、楽しく運動をすることが大切です。新しい学習環境の中で不安もあるかと思いますが、お互いに協力し合って運動することを心がけましょう。

また、生涯を通じて運動に親しむことができるように、体力を高め、技能を高めるのはもちろんのこと、記録会や競技会の企画や運営の仕方など基本的な事項も身に付けることができるようにしましょう。

さらには、仲間との関わり方にも配慮できるような資質を身に付けるよう努力しましょう。

「保健」	単位数	1 単位
	学科・学年・学級	普通科 第1学年 1～4組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲を育てます。 2 健康・安全の意欲を理解するとともに、現代社会と健康について課題解決の役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけます。 3 心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身につけます。
使用教科書・副教材等	「現代保健体育」 大修館書店

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲
第1学期	「保健」学習について 1 現代社会と健康 (1) 健康の考え方 ア 国民の健康水準と疾病構造の変化 イ 健康の考え方と成り立ち ウ 健康に関わる意志決定と行動選択 エ 様々な保健活動や対策 (2) 健康の保持増進と疾病の予防 ア 生活習慣病と日常生活行動 イ 喫煙、飲酒と健康	4	「保健」学習の意義や内容、評価の方法を理解します。 各種の指標を通して健康水準の動向を取り上げ、健康水準が向上してきたことや疾病構造が変化してきたことを理解します。		第1学期 考查
		5	個人や集団の健康について、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方や健康のための個人の実践力の育成とそれを支える環境づくりを重視するヘルスプロモーションの考え方などを例に理解を深めます。		
			健康を保持増進するためには、適切な意志決定や行動選択が必要で、それには十分な情報を集め個人の知識や価値観を元に思考・判断する必要があることを理解します。		
		6	国民の健康の保持増進を図るために、ライフステージやライフスタイルに応じて各種の保健活動が行われていることを理解します。		
			健康を保持増進するためには、適切な食事、運動、休養、及び睡眠など、健康的な生活習慣が必要であることを理解します。		
		7	喫煙、飲酒による健康への影響について、疾病との関連、周囲の人々や胎児への影響、社会に及ぼす影響があることを理解します。		
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント(8枚程度) 2 配布するプリント・ワークシートや新聞記事の切り抜きにコメントして提出します。					
【第1学期の評価方法】 1 期末考查の成績、プリント・ワークシートなどの記述内容、提出物の内容、学習活動への参加意欲等を総合的に評価します。 2 学期全体の評価は、概ね、期末考查の成績 50%、プリント・ワークシートや提出物の内容 30%、学習活動への参加状況を 20%の配分で評価します。					
	(2) 健康の保持増進と疾病の予防 ウ 薬物乱用と健康、医薬品の正しい使用 エ 感染症とその予防	9	薬物の乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響とその乱用を決して行わないことの必要性、また、医薬品の有効性や副作用及びその正しい使用方法について理解します。 感染症の新たな問題、及びその予防には社		第

第 2 学 期	(3) 精神の健康 ア 欲求と適応機制 イ 心身の相関 ウ ストレスへの対応 エ 自己実現	10	会的な対策とともに個人の適切な行動が必要であることを理解します。	2 学 期 末 考 査
		11	欲求が満たされないときに現れる精神の変化と、さまざまな適応機制が働き精神の安定を図ろうとすることを理解します。	
			身体的変化が精神におよぼす影響と精神的变化が身体におよぼす影響との両面から理解できるようにします。	
		12	ストレスの要因には様々なものがあり、それらの影響は人によって異なり、自分なりの対処法を身につけることが重要であることを理解します。	
			人間には、自分自身を高め、持てる力を最大限に発揮したいという自己実現の欲求があり、その充足が精神の健康と深く関わっていることを理解します。	
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント（7枚程度） 2 配布するプリント・ワークシートや新聞記事の切り抜きにコメントして提出します。				
【第2学期の評価方法】 1 期末考査の成績、プリント・ワークシートなどの記述内容、提出物の内容、学習活動への参加意欲等を総合的に評価します。 2 学期全体の評価は、概ね、期末考査の成績 50%、プリント・ワークシートや提出物の内容 30%、学習活動への参加状況を20%の配分で評価します。				
第 3 学 期	(4) 交通安全 ア 交通事故の現状 イ 交通社会に必要な資質と責任 ウ 安全な交通社会づくり (5) 応急手当 ア 応急手当の意義 イ 日常的な応急手当 ウ 心肺蘇生法	1	わが国における道路交通事故の状況を知り、事故には、車両の特性、当事者の意識、周囲の環境等が関連していることを理解します。	第 3 学 期 末 考 査
			交通事故を防止するには、心身の状態や車両の特性等を把握すること及び個人の適切な行動が必要であること、また、交通事故には責任や補償問題が生じることを理解します。	
		2	交通事故を防止するには、法的な整備、施設設備の充実、車両の安全性の向上などを含めた、安全な交通社会づくりが必要であることを理解します。	
			不慮の事故災害に対応できる社会環境をつくるためには、一人一人が応急手当の手順や方法を身につけ、進んで行く態度を養うことが必要であること、また、適切な連絡・通報や運搬の重要性を理解します。	
			日常生活で起こる傷害や疾病の際には、それに応じた基本的な応急手当の手順や方法があることを理解し、実践できるようにします。	
3	心肺蘇生法の原理や方法に関して理解し、実践できるようにします。			
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント（6枚程度） 2 配布するプリント・ワークシートや新聞記事の切り抜きにコメントして提出します。				
【第3学期の評価方法】 1 期末考査の成績、プリント・ワークシートなどの記述内容、提出物の内容、学習活動への参加意欲等を総合的に評価します。 2 学期全体の評価は、概ね、期末考査の成績 50%、プリント・ワークシートや提出物の内容30%、学習活動への参加状況を 20%の配分で評価します。				
【年間の学習状況の評価方法】 「関心・意欲・態度」（30%）、「思考・判断」（20%）、「知識・理解」（50%）の3つの観点にもとづいて 評価された各学期の成績を総合して、学年の学習成績とします。				

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の際に担当者の説明を聞いたり、板書を書き留めるだけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが最も重要です。さらには、学習したい内容をもとに、自分自身や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。 ・プリントやワークシートを中心に学習を進めます。学習の流れに乗り遅れないよう積極的に活動することが大切です。 ・新聞やニュースに気を配り、保健や健康に関する記事をスクラップするなどして、日頃から関心を持つことが大切です。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントやワークシートのファイルは毎時間必ず準備してください。 ・授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及びファイルを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。 ・欠席した場合は、配布されたプリントやワークシートについて必ず確認をしておいてください。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
<p>関心・意欲・態度 (30%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進に必要な事項について関心を持っているか。 ・仲間と協力して資料を集めたり、意見交換をしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業場面での参加の仕方や意欲・態度の観察 ・ワークシートや提出物の記述内容からの読みとり ・学期末テストの解答からの読みとり
<p>思考・判断 (20%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこれまでの学習や体験、資料等を元にしたたり、他の人の意見や考えを聞いたりして、課題の設定や解決の方法を考え、判断しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや提出物の記述内容からの読みとり ・発表の内容の聞きとり
<p>知識・理解 (50%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な生活行動を選択し、実践すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解しているか。 ・個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の結果 ・ワークシートの記述内容の読みとり ・発表の内容の聞きとり

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・「保健」という科目は「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間の授業が行われます。 ・健康問題がテレビ放送や新聞記事で大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ、適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。 ・「保健」では、自分や集団の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、生活中的課題をみつけだし、解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。 ・生活の中において、空気と同じように、あつて当然で、なくなると困るもの、それが健康です。毎日の生活の中で「体の健康」「心の健康」に目を向けましょう。
